

# be between 読者をつくる

## 終のすみかは戸建て？ 集合住宅？

戸建て、集合住宅とも、現時点で住んでいる形態のままの希望が多かった。戸建て派は、自分たち専用の土地と家という自由さや、プライバシーの高さ、庭などを重視している。定年後は今の家を『自分の城』として好みに建て直し、自分の時間を自分なりに過ごしたい。千

### それぞれ一長一短

庭付きのマイホーム。国土が狭く、地価が高い日本において、それは人生最大の目標であり、憧れでもありました。しかし核家族化、高齢化が進む昨今は、維持・管理、防犯、利便性などの観点から、集合住宅も人気です。人生最後の自分の住まい「終のすみか」をどうするか、聞いてみました。

インターネットサイト「オール・アバウト」などで最新の住宅事情などを解説する住宅ジャーナリスト、山本久美子さんは「終のすみかの前に、まず現時点の家が、自分の今の暮らしや健康状態に適しているかを見極めて」と指南する。以前は借家生活から始まり、戸建てを所有すること

### 過去より今後視点で

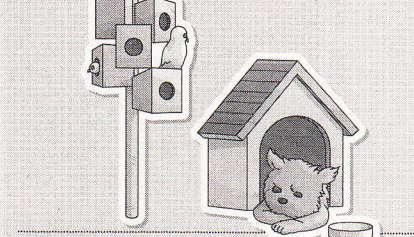
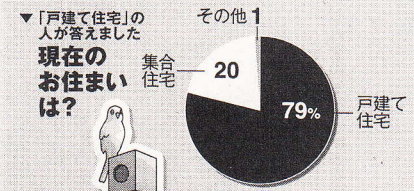
が人生の「あがり」と目されてきた。しかし高齢になると屋内の階段や立地の悪さなどに困り、住み替える人が増えてきた。「今は管理が行き届いた別荘地や、高齢者向けの有料グループホーム、賃貸シェアハウスなど豊富な選択肢がある」「家族の思い出が詰まっている」「子供や孫が遊びに来た時のために」など過去や不確定、非日常的な状況にこだわりすぎると、不便を我慢し続けたり、広さを持って余したりしかねない。「定年になった後、家で過ごす時間は今や短くない。後ろ向きではなく、これからの毎日をいかに楽しむか。その観点から住まいを考えて欲しい」



▼「戸建て住宅」の人が答えました

**その理由は？** (三つまで選択、6位まで)

自分たち専用で落ち着く庭がある	857人
好みの内外装にしやすい	642
騒音を気にしなくていい	401
プライバシーを保ちやすい	302
広さ	252
その他	192



▼全員が答えました

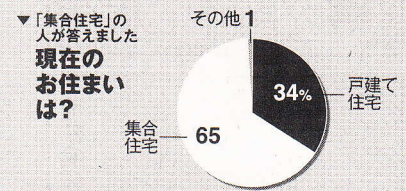
**戸建て住宅の欠点は？** (三つまで選択、5位まで)

維持・管理・改修の労力、費用	1137人
庭の掃除、手入れが面倒	891
防犯対策が甘くなりがち	714
1人になった時、寂しい、怖い	296
木造だと老朽化が早い	281

▼「集合住宅」の人が答えました

**その理由は？** (三つまで選択、6位まで)

立地が良く、利便性が高い	473人
維持・管理を任せられる	463
防犯対策が充実している	298
部屋内の昇降がなくて楽	242
断熱・気密性に優れている	197
共用施設が便利	128
その他	1



▼「集合住宅」の人が答えました

**人生最後の住まいには、どんな集合住宅が希望？**

マンションなど中大規模な高級集合住宅	64%
アパートなど小～中規模な集合住宅	16%
その他	7%
中～大規模な集合住宅	13%

▼全員が答えました

**集合住宅の欠点は？** (三つまで選択、5位まで)

騒音がトラブルになりがち	637人
修繕積立金、管理費、駐車場代など	554
専用の庭がない	353
集会、行事などが面倒	328
改修、改築がしにくい	277

【回答者数：2275人】 グラフィック：岡山 道矢

る。でも超高齢化社会で本当に入れるのか、世話をしてくれるスタッフがいるのか。費用や空き状況、介護態勢など、不安は尽きない。家族の中で、すれ違いも。「夫は定年後、マンションを子に譲って自分の実家の戸建てへ移るつもり。でも私には寒くて、車なしでは生活できない田舎はつらい(東京、53歳女性)」「平屋建ての借家に仲の良い友達と共同生活。夫も仲間に入れるかもしれないが、たぶん無理(岐阜、56歳女性)。夫婦でも、最後まで一緒とは限らないようだ。日本人の平均寿命は、2012年時点で女性が世界一長寿の86.41歳。男性も79.94歳で過去最高に(厚生労働省調べ)。家族のあり方や健康状態の変化によって、「理想の住まい」は変わっていく。いつ、どのように選ぶべきか、迷うところだろう。「理想があったら、自分の人生がどの瞬間で終わるのか、わからない。でも今の環境に幸せを見つけたら、人生を紡いでいきたい(神奈川県、62歳女性)」

5分先に主治医がいて、徒歩3分の駅から都心までは10分。半径3000円圏内にスーパーも薬局もあり、『終』の条件が整っている。100歳まで生きられそう(東京、66歳男性)。「鍵一つで外出できる気軽さがある一方、押し売りなどは絶対入ってこれない。セキュリティ万全で安心(大阪、56歳女性)。住み慣れ、思い出が多い自宅の最後を熱望する人もい

れば、自由回答で病院や高齢者向けの介護施設を挙げた人もいた。だが、神奈川県的女性(50)は「子供がいないので、老人ホームが一番なのだ(原島由美子)」